

## 閑上地区まちづくり協議会 世話役会(182) 議事録

日 時	令和2年1月21日(火) 18:35~20:45
場 所	名取市復興区画整理課会議室(仙台法務局名取出張所2階)
出席者	■針生勉 □阿部ひで ■今野義正 ■今野慎介 ■南部比呂志 ■宇佐美久夫 □千葉洋子 □出雲 隆 (事務局)UDW豊嶋、コンサルタント3名
オブザーバー	市職員 震災復興部2名 復興調整課1名 教育部文化・スポーツ課2名 坂口先生
議 題	0. 事前確認 1. 情報共有 2. プロセスの伝承について 3. 新たな閑上の発展に向けて 4. その他
資 料	資料-0 次第、第181回世話役会議事録案 資料-1 「暮らしの復興の歩み」対話イベント開催報告速報 資料-2 拠点施設の連携による交流人口拡大に向けた意見交換会 資料-3 閑上グラウンドについて 資料-4 第2回みやぎまちづくり自慢大会

### ○ 協議要旨

#### 0. 事前確認について

##### <議事録確認>

- ・第181回世話役会議事録は、不適切な箇所があれば後ほど事務局まで通知すること。

#### 1. 情報共有

##### <前回からの動き>

- ・1月18日(土) モバイルキッチン 坂口先生より、モバイルキッチンの実演について報告
- ・1月19日(日) プロセス伝承・対話イベント 豊嶋さんより開催報告 →「3.」にまとめ

##### <今後の予定>

- ・2月6日(木)午後 復興省察研究会
- ・2月29日(土)午前/午後 みやぎまちづくり自慢大会

##### <名取市から>

- ・拠点施設の連携による交流人口拡大にむけた意見交換会について 開催日 1/27(月) 2/18(火)
- ・閑上グラウンドについての現状報告

#### 2. 新たな閑上の発展に向けて

- ・今後のまちづくり協議会について(ワンチーム組織づくりサポート)
- ・住民と商業の関係性を確保していきたい。

#### 3. プロセスの伝承について

- ・対話イベントの振り返り

- ・今後の展開

#### 4. その他

閑上地区に関わる主体の連携を目標として

- ・行政に対し支援をお願いできないかのアプローチ
- ・事業者に対するアプローチ
- ・住民に対するアプローチ

この3つを中心的に話し合う。

#### <次回世話役会>

- ・次回世話役会は2月4日(火)とする。

次回予定:世話役会(183) 2/ 4(火) 18:30～ 閑上公民館

以下、世話役会の主な意見について記載する。

## 0. 事前確認

資料-0 第181回世話役会議事録案

### <議事録の確認>

- ・第181回世話役会議事録は、不適切な箇所があれば後ほど事務局まで通知すること。

## 1. 情報共有

### <前回からの動き>

- ・モバイルキッチン（坂口先生）  
当日の記録整理をしているので、今後改めて報告。3/9(月)に東京で最終プレゼンがあります。  
公園、広場で使ってもらうのが目的なので、暖かくなった春にまた開催したい。
- ・フルーツポンチ、美味しかった。
- ・メニューが載っているメニュー表、またはチラシが必要になってくる。

### <今後の予定>

- ・2/6(木)午後 復興省察研究会→研究会メンバー針生さん、宇佐美さん 閑上公民館会議室で開催協力：事務局
- ・2/29(土)午前/午後 みやぎまちづくり自慢大会→まちづくり協議会として。
- ・復興庁被災者支援コーディネート事業は、どちらも閑上で行う。
- ・午前中は「地元・閑上まち協が地域をご案内！閑上エクスカージョン」を10名限定、募集する。
- ・80人も来るのか？→去年は60名程の参加。(UDW)
- ・バスは手配するので、案内人、動ける方を決めたい。(UDW)
- ・閑上を案内：どの「ルート」で、どこを「案内」して、誰が「説明」するのかを検討。
- ・宇佐美さん、南部さん、針生さん（今のところは動ける。）針生さん、午後は必ず参加。
- ・2/29は、閑上まちづくり協議会として、ちゃんとしたお迎えをしましょう。
- ・まちづくり協議会として行うので、皆さんも時間をとって、できるだけご参加ください。

### <名取市から>

○拠点施設の連携による交流人口拡大にむけた意見交換会について

- ・閑上には色々な施設がある。来てくださる人が一つの施設だけではなく色々な場所に行けるよう、閑上全体が勧誘していけたらお互いの施設が良くなるのでは？
- ・今年度残り2か月の中で、「かわまちてらす閑上」「朝市」など、各施設の方が集まり顔合わせをし、顔見知りになるところから、お互い問題の意識を持ち意見を交換し、連携していく。
- ・開催日は 1/27(月) 2/18(火) 決定 まずは2回のみ開催。
- ・なぜ、復興調整課がやるのか？行政の関わり復興部としては3月末で終了（区画整理はある）引き継ぎは→商工観光課。事務局体制としては復興調整課と商工観光課。もちろん仙台河川国道事務所も一緒に行く。  
なくなる前に、少しでも繋がっていく場を設ける為に開催する。(市)
- ヒアリング調査した結果をまとめ課題で話し合い、電子データとし共通の勧誘製のマップを作る。それぞれの施設が使う分を自分たちで印刷し使えるような基盤作成。あくまでもパンフレット原案を作るのが目標。

次年度以降は、みんなの考え次第で継続するかは未定。 (市)

### 【質問】

- ・サイクルスポーツセンターの管理は決まったが間に合わないのか？→商工観光課が入る。JV は難しい。(市)
- 海で海水浴は？→震災前は閑上ビーチがあり、市でも海底調査を行った。結果、海水浴はできるが市としてビーチを復活させるかは未定。今のところは考えていない。(市)
- ・商業の考えではなく、閑上に住んでいる方々からしたら他の地区にないものだから、状況に合わせて、最大限に活用すべき。荒浜と対抗できるのでは？と思う。
- ・今後、復興調整課から商工観光課になると、ますます商工観光課だけの動きだけになり、そこに住む住民が取り残されるのではないかと心配になる。区画整理事業内、交流人口となると、施設管理者も大事だが、住民の代表も必要ではないのか？
- 沢山の施設があるのに顔合わせする機会が無く、まとまっていない。まずは施設管理者同志が顔見知りになって商業を色々な方々にアピールをする。その為にパンフレット原案を作る。それから拡大していく為に、みんなで話し合いを行ってもらおう。2回の開催は極力ハードルを下げた共通の基盤づくりをおこなうのが狙い。(市)
- ・まちづくり協議会が新たに違う名で活動するときは、今後、参加することは可能？
- 話題は「観光、商業」がテーマなので話を聞くのは大丈夫だが、最初の2回は話し合いのテーマが違う。(市)
- ・我々の住居周辺が商業で、商業の人は住んでいない方々。住民の声が届かない、置いて行かれないかが不安。
- そんなことはないと思います。(市)
- ・かわまちてらす閑上、公民館の駐車場問題で住民も施設も中々言えないでいる。これから細かい問題が多くなって来るかもしれない。協力体制がないと。話、意見を聞く機会の方がいいのでは。
- まちづくり協議会としてプランがあるとのことなので、これを上手く取り入れてもらい、次年度なり皆さんのタイミングで合わせていってもらいたい。「町内会主催でイベントやるから、みなさんも一緒にやりませんか」と声かけは必要だと思う。地域を構成するのは町内会。町内会があって、商店、施設などがあり、発展していく。あくまでも町内会が1番だと考える。大きなテーマになった時にみんなで集まって話し合っていくべき。今回の目的はバラバラだった商業を一つにまとめる。その後に声をかけて連携をとってってもらいたい。(市)
- 実は、同じタイミングでチームゆりあげとして全く同じような内容を行う予定。なぜ商工業者だけ？復興調整課、それとは別にまちづくり協議会も声をかけたら同じことでは？閑上をよく盛り上げようとしているのに、なぜ？今回、話を聞いて目的はあくまでも各商業が顔見知りになりパンフレットの原案を作成。この話を進めて問題はない。ただ、進めていくうえでのお願いは、住民も含めて閑上を盛り上げていかないと、せっかく綺麗にした閑上が廃れていってしまうのが心配。なので、先々チーム閑上になってやっていくときは、まちづくり協議会に声かけ頂き、色々な話し合いをしていきたい。(市)
- ・履き違いが起こると負担が増えるのでは？話し合いに参加しなくなってしまう。
- ・または、事業者にとっても旨味があるのでは？意識高まると思う。

### ○閑上グラウンドと閑上コミュニティ広場についての説明

<スポーツエリア>

→「(災害復旧) 閑上グラウンド」約 8,000 m<sup>2</sup> 周りを含めると約 10,000 m<sup>2</sup> 以前より約倍増になった。

東日本大震災により流失し使用不可、旧公民館前の無料体育施設である「閑上グラウンド」を移転し復旧。

「閑上コミュニティ広場」49,000 m<sup>2</sup>含め、この一体をスポーツエリアとする。

- 当初の計画ではパークゴルフだが基盤整備を公金で賄いたいののでコミュニティ広場として一旦、基盤整備を行い。その他、駐車場も整備する。
- どちらも2020年4月1日(水)から供用開始、貸し出し予約については2020年3月1日(日)からとする。「災害復旧グラウンド」→「閑上グラウンド」。主な種目：野球、ソフトボール、サッカー、少年野球、グラウンドゴルフ等
- 備品を購入して設置し開放する。(野球、サッカー、少年の部)(グラウンドゴルフは二面使える用具)など。
- 倉庫3基購入→野球、サッカーに支障がない端に設置予定。野球、サッカーは名取市野球協会、名取市サッカー協会と話し合った結果。野球はグラウンド一面を使用する頻度が少ない。ピッチャーのマウンドを形成していないので正式な野球の試合は行えない。サッカーは正式の試合は考えていない。一般のゴールについて二次的に今後考えるが、今のところは無い。
- 3/1号等のどつとなとり、閑上公民館だより等で周知する予定。
- 屋外の体育施設の要項に沿って貸出す、使用については社会体育団体の登録が必要。また申請受付期間は基本2週間前から前日まで各管理の申請する場所を管理者の裁量。閑上の場合：閑上地区内の社会体育団体は3か月先まで予約ができる。その他のチーム、団体、閑上地区以外は1か月先までしか予約できない。ただし、閑上地区での住民団体、PTA、その他の団体に関しては枠から外し開放したい。相談は「文化・スポーツ課」
- グラウンド、車の出入り口は鍵が掛かっているが人が通れるスペースは空いているので占有して使用されていない場合はキャッチボール、サッカーなど遊ぶことも可能としたい。

「閑上コミュニティ広場」

- 名前の通り公園同様、誰もが自由に利用できる。(散歩、ボール遊び等。)本格的な球技等、火気の使用、ペット放し飼いは禁止とする。原則、貸切利用は想定していない。
- 新年度予算の為、計画段階中。サッカーゴール、野球の仮設フェンス購入検討。1/3をスポーツ区画とし作り、開放する企画。(フェンス360m、1.2m×1.5m購入予定。80m×100区切り：少年サッカー2面、少年野球1面)
- 購入に時間が掛かる為、区画したグラウンドの供用開始は6/1(月)から、予約は5/1(金)～。
- 地区の方が占有してイベント、夏祭りなどを開催する場合は優先的に占有して安全確保に努めて開放する。
- 使用の仕方、注意の看板設置もしていく。

## 【質問】

- ・例えば「夜に花火をして荒らした」など想定される。現に閑上会館も花火をしてゴミが放置されている。今までは気づいた閑上住民、町内会が片付けをしていたが、対策、対処は？
- 文化・スポーツ課が管理。(来年度の話なのでまだ予算が通っていない。)体育教会に委託。週1、2回の見回りと清掃、樹木の剪定を依頼。最低でも週、2回来る。花火、等々は他にも実際、起こっているのが事実。対策としては市に電話をすると担当の課に繋がる(夜中でもガードマンがいるので可)必要であれば、その現場に駆け付けるようにする。比較的、花火や暴走族は現在少ない。市民球場の大きな駐車場で何台か車を止めている。夏は花火もしているときがあるので、迷惑行為がエスカレートしていく可能性があれば夜は道路からの入る駐車場を閉鎖。問題あれば対応。基本は駐車場開放。(市)
- ・トイレ、水回りは？
- 災害復旧グラウンドとコミュニティ広場の間にあります。(市)
- ・山田市長が夏祭りを今年開催したい。と言っていた。人が集まった時の運用、車、火の取り扱い問題など考えて下さい。

→検討します。(市)

- ・初めての人でも緊急避難誘導、避難はどこか分かるように看板を設置していただきたい。

→検討します。(市)

- ・4/1～災害復旧グラウンド、サッカーのコート整備のための目印は？

→目印はある。(野球、少年野球、ソフトボール)サッカーは主本、どちらを使うかはこれから考えていく。(市)

- ・使える日付はお話してもしていいの？

→住民の方々から聞かれたら回答してもいい。4/1～使えて3/1～予約できます。(市)

- ・悪用されないかが不安。状況によって対応していただきたい。

- ・グラウンドの周り芝生対応に感謝。斜面になってグラウンドが低くなってるが内水、浸水の被害は大丈夫？

→まだ出来上がってない状態なので、雨の水はけ判断はしにくい。その時の状況に変化するのではないか。基本的には暗渠排水と勾配を考えている。暗渠排水は10年もたない。他のグラウンドよりはいいと思う。(市)

## 2. プロセスの伝承について

### ○伝承イベント報告 (UDW)

- ・13:30～15:30 増田公民館第一研修室で開催。

- ・登壇：相澤 太さん、出雲 隆さん、佐々木 洋さん偶然にも3人とも名前が一文字で最後に「し」がつく。  
コーディネータ：高橋 若菜さん(みやぎ連携復興センター)

- ・参加者大体25名 増田、閑上、前市長、メモリアルネットワーク系の他の地域、仙台高専学生、みやぎ連携復興センター3名ほど、河北新報記者。総勢35名参加されました。

- ・対話イベント4つの質問 「震災当時のこと」「心に残っていること」「暮らし再興の歩み」「伝えたいこと」  
その中で抜粋したもので資料を作成。

- ・3人はどのように歩んできたのか年表に表した。

- ・相澤さんは特殊な例で、2011年4月には静岡に研修し、その後11月からずっと東京で今までとは違う仕事で営業をしていた。2016年工場再建。2017年8月に家を再建、閑上に戻ってきた。まちからずっと離れていたのに、まちのことをずっと思い、考えて戻ってきた。前日、胃腸炎になり大変だった。

- ・佐々木さんは2011年5月閑上再建。2012年2月さいかい市場。12月仮設工場太子堂を拠点として、さいかい市場の為に補助金を使い作戦会議をしてさいかい市場をスタートに向けて動き始めた。ずっと、さいかい市場→昨年2019年10月、酒蔵を再建。震災当時は蔵の屋上で「まちの復興」のことしか考えていなかった。

- ・出雲さんは2012年愛島仮設住宅。2014年5月美田園家を再建。少年野球、閑上ヤンキース監督を現在も。噂話があったが自ら判断して美田園に再建。理由は子供が成長したことで仮設住宅では難しくなった。そして美田園でも潮の香りがする。閑上出身者としては、やはり潮の香りも決め手に。美田園でもいいと判断。

- ・伝えたいことは「逃げるのが命を守ること」「心構え」

- ・相澤さん、佐々木さんは、「震災後も閑上の為に再建に向けて、しっかりと気持ちを持ち続けることが大事。」

- ・出雲さんは、「震災の前から家族と話し合っておく。遠方、知り合い仲間を持っておくことが重要。」

- ・それぞれの本音が聞けて些細なことまで語っていただけた。イベント全体的としては伝えたいことで、かなり前向きな話を聞いた。伝承に向けては非常に大きな足掛かりになって良かったが、復興を検証するに関してはまだまだ難しい。このタイミングでこうゆう情報提供があるべきだった。もう少し時間がないといけない。

## <今後について>

- ・1月末で等々の助成金の事業としては、伝承イベントを報告した上で終了。(UDW)
  - ・針生さんが書き留めていた【地震災害時に大切な事】⑳、先ほどの3名の方の伝えたいことと重複する部分があるが、これらの内容を何らかの形で発信をする。震災当事者が発信することが重要。これを発信するとともに「なんでこれをおもったのか」エピソードをセットにしたような形で発信すべき。(UDW)
  - ・例えば、冊子みたいな形に残して、震災復興伝承館の展示であったり企画、発信ができるのでは？
  - ・冊子を製作することに関して、年度内3月中にまとめられたら、みやぎ連携復興センターさんが予算をもつ。金額は1月末にならないとわからない。だが、準備はできる。印刷費、デザイン、製作費など。
  - ・短い期間での作成になるが、冊子の作成をどうするのか？(UDW)
  - ・【地震災害時に大切な事】⑳ 理念、方針など、そうゆうことが多いが具体的な話をあげています。伝えようとしても、起きる発災の状況、被害の大きさによって受け止め方が変わってくる。我々、9年前に実際、津波被害を受けた時に具体的に前もって準備しておけばよかった、という反省をこの9年間、ずっと考えてきたと思うので具体的な項目を書き留めて積み重なったのが㉔項目。㉔項目以外にも皆さんもあれば追加して世に伝えていければいいのかなと思います。
  - ・針生さんが考えていた【地震災害時に大切な事】⑳をどのように使うかで今後のやる意味、今回のやった意味に繋がる？子供でも誰でも絵をみて分かりやすく見やすいようミニブックみたいな絵付きで書くのは？東京地方や行政に置きたい。3人も言っていたが震災時、家族がバラバラになった時に常日頃、家族のコミュニケーションで「生きていたら絶対に会える」という考え方のもと、高いところ、避難場所、逃げる場所を自分で決めて家に戻らずそこに行く。出雲さんが言っていたが昔からの鉄則で、それが守られていないと二次被害、三次被害となる。この考えは絶対に必要な事。それを決定づけるのに9年も経って正直言って我々も忘れてはいないが、うっかりする部分がでてくる。それを無くすためにも今回の区切りのいい㉔項目2~3ページで構わないから各市町村、公民館などに置けるような体制でミニブック、冊子を作っておけたら嬉しい。
  - ・今後の展開は？引き続き、何かしらの事をみやぎ連携復興センターさんの予算を使う？(UDW)
- せっかくここまでやり伝承館もできるので高級なものではなくていいから冊子かなにかをずっと作っていければいいなと思う。

## ◇参加者の振り返り 感想

- ・限られた時間の中で、うまく引き出していただき非常に良かった。何回かできるのであれば、もっと内容を絞ってできたらいいですね。中々、難しいと思いますが。
- ・2時間行いましたが、4時間あっても良かった。ただ4時間この内容では上手くいかないと思うので2時間はこのままで、この話をベースにグループに分かれてワークショップや、話の深堀をする時間があってもいいと思う。今回参加予定だった仙台高専の針生瑠奈さんがインフルエンザで欠席。3人の登壇が素晴らしいお話だったので、人選が良かったのかなと思います。
- ・やはり一人一人の思いがあるのでその話が聞けたのは良かった。特に佐々木さんの人助けしたお話とか。(市)
- ・たった3人でこれだけのお話が伺えたので、そういう体験や今日まで努力してきた人はいっぱいいると思う。3人のお話はものすごく良かった。参考になるお話もいろいろ良くて話をしてもらえたなと思います。これだけの被害だから、その他にも、もっとたくさんいるんだろうなと思いながら話を聞いていました。(市)

## 3. 新たな閉上の発展に向けて

- ・次の総会までにワンチームの組織づくりのサポートを考える

- ・裏課題 「今後のまちづくり協議会について」 2/18(火)までにまとめていくべき。
- ・連合体は必要だと考える。各団体が共存していく為に。を考えていかなければいけない。
- ・商業者は建物があって商売しに来ているだけなのではないのか？ 閑上の住民は居ないので、まちのことを考えているのか不安である。

「住民と商業の関係性」

例えば、共通商品券を住民が購入する、商業は売り上げが上がり、住民に感謝をする。

住民から買ってもらえているからこそ、お互いの関係性を上手くやっていけるのでは？

- ・ミズベリングやりあげは続けるべき

#### 4. その他

<次回について>

- ・「行政に対し支援をお願いできないかのアプローチ」「事業者に対するアプローチ」「住民に対するアプローチ」この3つを中心に整理して考えていかなければいけない。
- ・ルールを引いてあげるところまでやってあげなければいけないと思う。道筋を見極めて決めてまちづくり協議会としては引き上げたい。
- ・最終的にはどの時点を目標に行っていくのか？スケジュールを決めていく。

次回はこれらの内容を具体的に話し合っていく。

以上

<次回世話役会>

- ・次回世話役会は2月4日（火）とする。

次回予定:世話役会(183)2/4(火)18:30～ 閑上公民館